

国スポに向けて日々鍛錬！  
本市の弓道も見逃せない！

発見！

ミライのアスリート☆

串間中学校 弓道部部长  
早瀬 夏海さん



串間中学校弓道部の皆さん

Q 弓道を始めたきっかけは？

友達の先輩が弓道をしていたので、部活体験で最初に弓道をしてみたらすごく楽しかったからです。他の部活も体験してみただけど、弓道が一番楽しくて始めました。

Q 毎日の練習で心掛けていることは？

弓道は矢を射る競技でもとても危ないので、練習はメリハリを大事にしています。試合をイメージしながらメニューを組み立てています。

Q 弓道の魅力は？

他の競技では高齢者の方と一緒に競技することは難しいけど、弓道は老若男女問わずできます。高齢者でも中学生でも一緒になって成長できるのは大きな魅力だと思います。

Q 今後の展望・目標を教えてください

昨年、先輩が全国大会に行ったので、私も全国に行きたいですし、そのときは優勝を目指します。指導者にも恵まれても楽しく弓道をしています。特に今までの先生方にはすごくお世話になったので、成長したところを見てほしいと思っています。目標は世界一位です。

☆2027国スポに向けて  
「弓道競技が串間であるよ」と話になります。3年後は高校生なので、これからも弓道を続け、選手として参加したいです。

弓道の  
すごい人



宮崎県弓道連盟 串間支部 支部長  
江藤 たかつく 高嗣さん

Q 選手時代に意識していたことは？

「勝ちたい」という気持ちが強かったと思います。中学生のころから一般の方に交じって練習を頑張りました。

Q 弓道の魅力は何ですか？

自分との戦いなので、自分に足りない部分を感じることで、変わろうと努力した分、勝ったときの達成感があります。

Q 読者の皆さんへ一言お願いします

「武道」ということもあり、とっつきにくいイメージもあるかもしれませんが、一人でもできて、長く続けられるスポーツなのでぜひ体験してもらえたらうれしいです。国スポは全国からトップ選手が集まる大きな大会です。間近で見る貴重な機会です。ぜひ見に来てください。

弓道を実際に体験！ 福島小で弓道に親しむ授業が行われました

福島小学校で1月26日、子どもたちに弓道への理解を深めてもらう授業が行われました。同小学校の4年生は、地域の伝統文化を学ぶ授業の一環で「都城大弓（経済産業大臣指定伝統的工芸品）」について学習しています。

大弓制作の披露

①真竹の切り出し

弓竹は周囲18～21センチ、芯竹は30センチ以上の2種類を切り出して小割りにした後、3～4カ月自然乾燥する。



②弓芯の張り合わせ

火入れした芯竹とハゼを張り合わせて接着する。



今回の授業は国スポの啓発活動と兼ねて実施。同大弓を制作する横山黎明弓製作所（都城市）の弓師による講話や大弓の一部工程の制作披露、宮崎県弓道連盟串間支部による演武披露・弓道体験（5・6年生の希望者も参加）が行われ、子どもたちは弓道の魅力を肌で感じていました。



③弓の打ち込み

弓竹で弓芯を挟み、額木、関板を付けて接着。80～100本のクサビで締めつけながら半円状に反りをつけ打ち込む。



④弓の型づくり

今回は手足による型づくり。本来はクサビをはずし、張り台で弓の型にする。



授業の感想



実際に職人の技を見ることができてうれしかったです。演武では矢が当たったときの音がとても迫力がありました。体験では最初は怖かったけど、慣れてくると的に当たることができて楽しかったです。いい経験になりました。

弓竹ってこんな感じなんだ



弓こんなに大きいんだ！



引き方はこうするんだよ



よーく狙って…



●問い合わせ先 国民スポーツ大会準備室 ☎55-1162

■大会愛称  
**日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ**

■大会スローガン  
紡ぐ感動 神話となれ

■開催時期  
第81回国民スポーツ大会  
令和9年9月中旬～10月中旬の間の11日間  
令和6年から大会名称が変わり「国民体育大会（国体）」から「国民スポーツ大会（国スポ）」となります。

■本市の正式競技＝弓道（近的・遠的）、自転車ロードレース

優勝おめでとうございます！

宮崎県代表  
成年女子の皆さん  
監督：野中 啓史さん

今年度行われた、『特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」』の弓道成年女子遠的で宮崎県選抜チームが優勝しました。



本市出身。小学5年生のとき、自宅裏の弓道場で弓道を始める。福島中学校時代は弓道部の初代主将を務める。高校3年生のときには第28回国民体育大会に出場。また高校総体では個人の部で優勝に輝く。法政大学時代も弓道を続け、現在は次世代の育成に日々、尽力されている。